

Okamoto

株式会社岡本工作機械製作所

(証券コード : 6125)

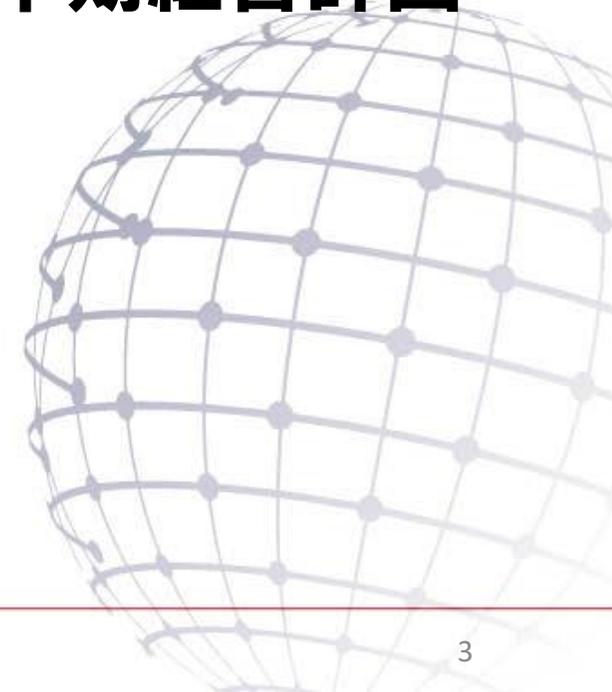
2020年3月期決算説明資料

**新型コロナウイルス感染症（COVID-19）
によりお亡くなりになられた方々に
謹んでお悔やみ申し上げますとともに、
罹患された方々の一日も早い回復を
心よりお祈り申し上げます。**



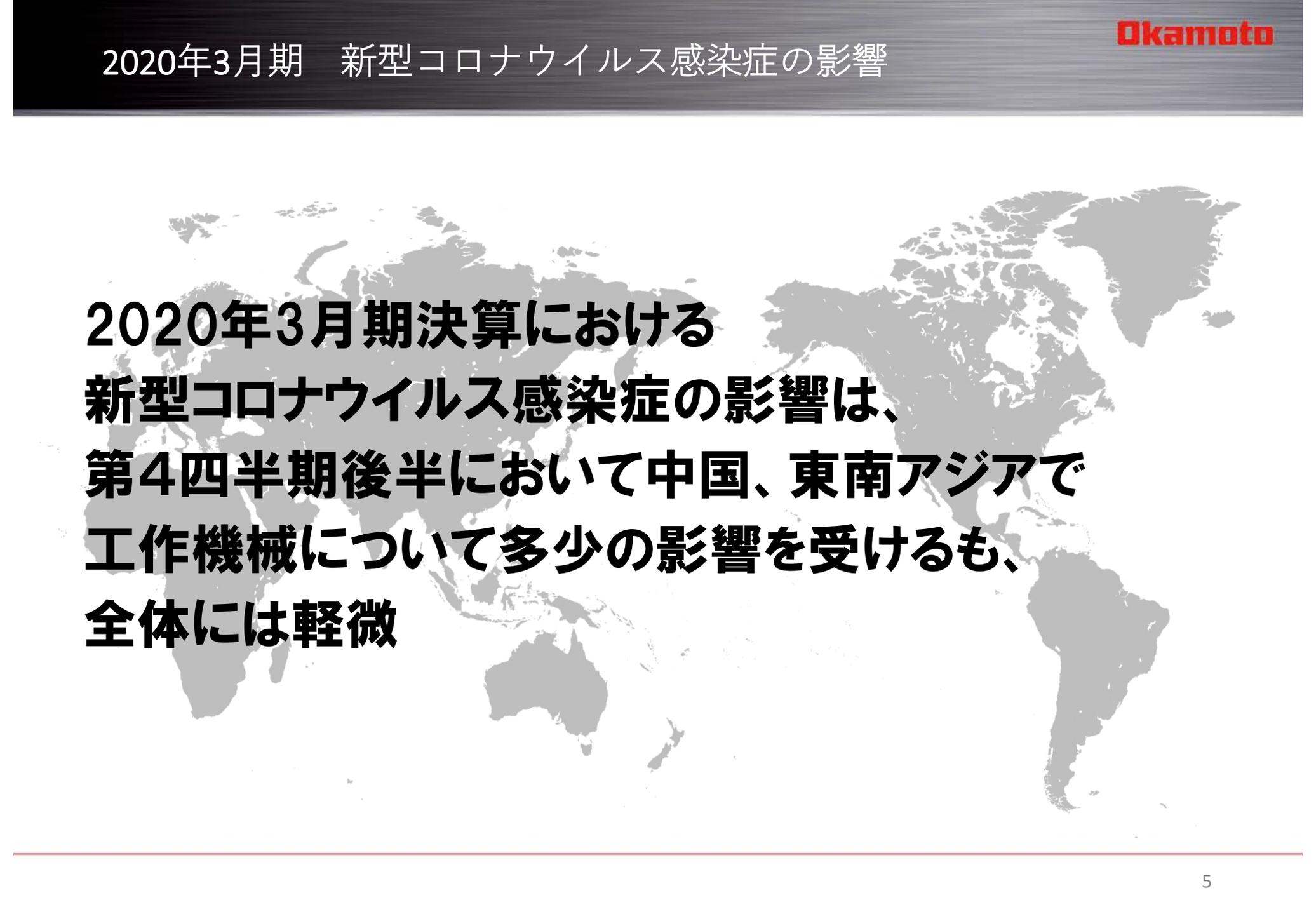
1. 2020年3月期 決算概況
2. 2021年3月期 通期予想
3. 新型コロナウイルス感染症の影響と当社の施策等
4. 新型コロナウイルス感染症の影響と中期経営計画

Appendix



1. 2020年3月期 決算概況



A faint, grayscale world map is visible in the background of the slide, centered behind the main text.

**2020年3月期決算における
新型コロナウイルス感染症の影響は、
第4四半期後半において中国、東南アジアで
工作機械について多少の影響を受けるも、
全体には軽微**

2020年3月期の市場環境

■ 国内市場

- 工作機械は工作機械業界向けに門型平面研削盤、幅広い業種で大型平面研削盤の需要続くも、中国市場における投資抑制の影響などから売上は前年に届かず
- 受注についても工作機械業界、金属部品業界から大型平面研削盤の受注があるも、設備投資抑制傾向強く好調だった前年を下回る
- 半導体については、ウェーハ生産用のファイナルポリッシャーやグラインダー装置の販売が好調。受注は半導体業界の慎重な設備投資姿勢が継続し、前年を下回る

■ 海外市場

- 北米は航空機、医療機器などの業種を中心に新型平面研削盤の需要増加。売上、受注とも好調に推移
- 欧州はイタリア、ポーランドを中心に堅調に推移も、ドイツの自動車業界の不振から売上減少
- 中国は米中貿易摩擦の影響強く不振。第4Qは新型コロナウイルス感染症の影響も色濃い 東南アジアも企業活動停滞。ただし、半導体関連は年度後半に受注持ち直しも

業績ハイライト

(単位:百万円、%)

	2019年3月	2020年3月	
	金額	金額	前期比増減率
売上高	36,067	34,305	▲4.9%
売上総利益	11,856	10,330	▲12.9%
販売費及び一般管理費	7,926	7,740	▲2.3%
営業利益	3,929	2,589	▲34.1%
経常利益	3,522	2,420	▲31.3%
当期純利益	3,224	1,582	▲50.9%

※小数点第2位を四捨五入

(単位:百万円)

	2019年3月	2020年3月
	金額	金額
設備投資額	1,328	1,615
減価償却費	1,166	1,320
研究開発費	130	153

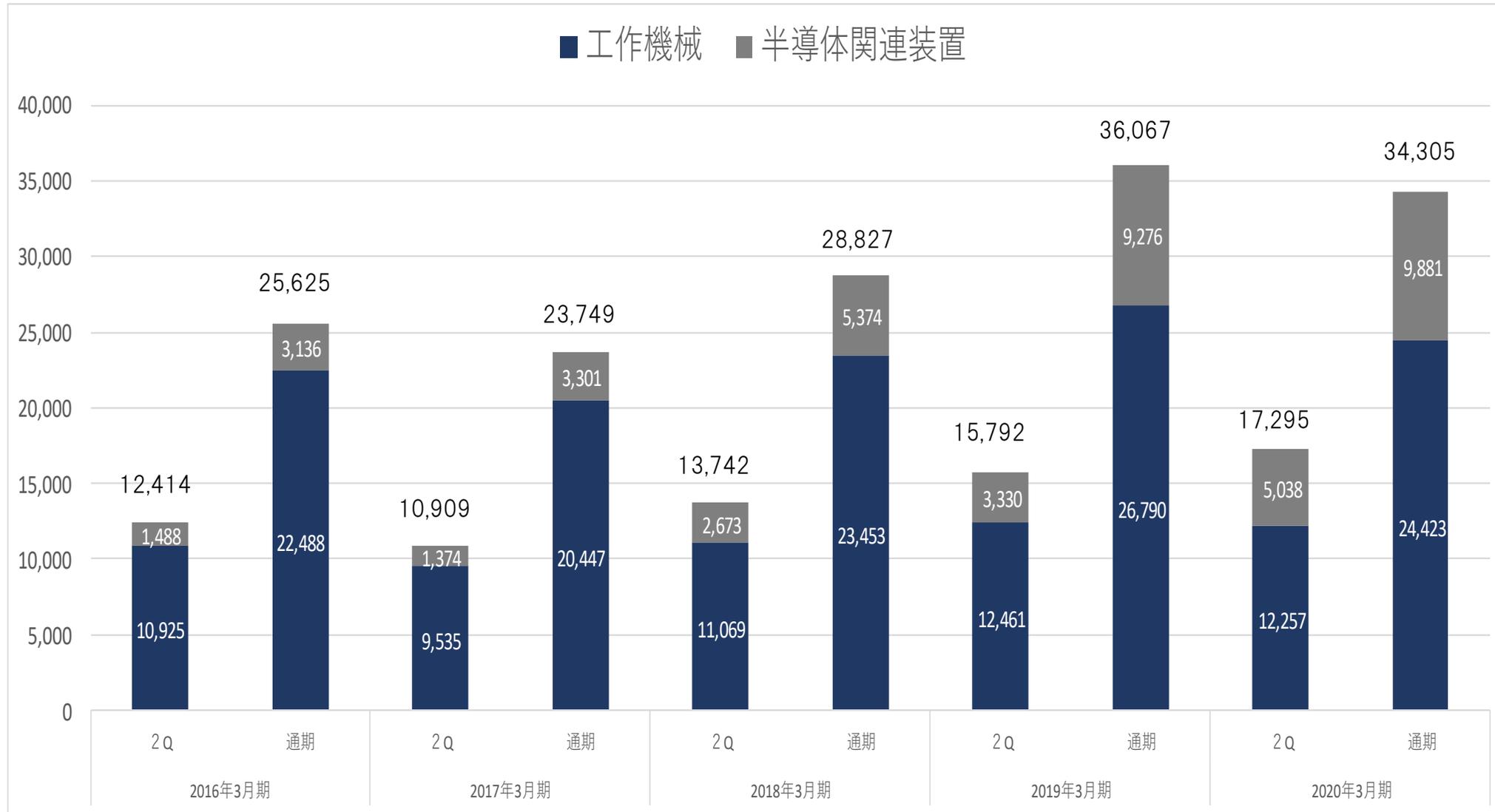
為替レート

	2019年3月	2020年3月
米ドル	111.07	108.95
シンガポールドル	81.73	79.27
ユーロ	128.26	120.85
タイバーツ	3.43	3.51
人民元	16.50	15.59

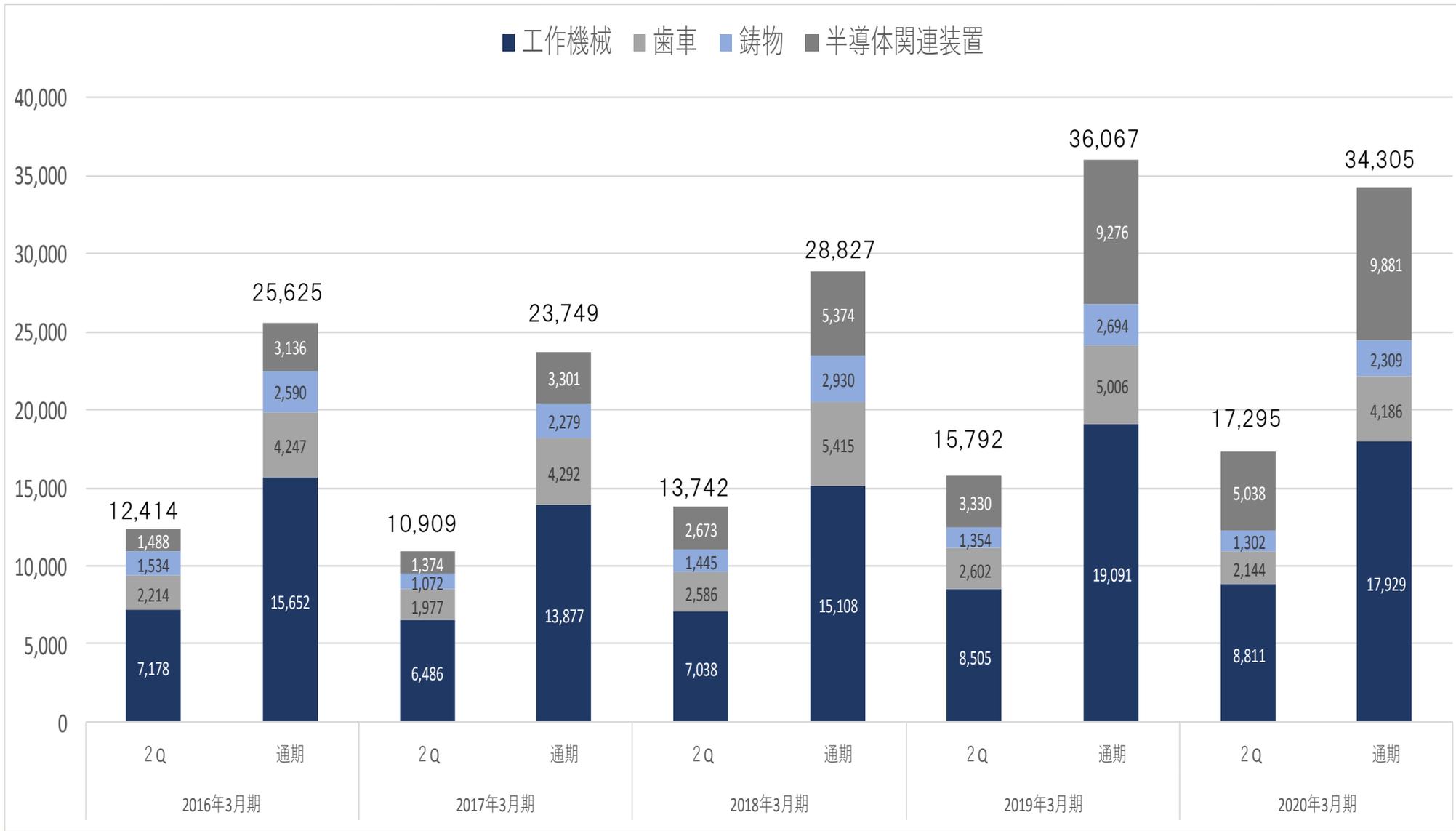
※期中の平均レートで記載しております。

- 前期比で売上高は17億62百万、4.9%減少。営業利益は13億4千万、34.1%減少
- 工作機械は中国市場の投資抑制、第4Qの新型コロナウイルス感染症の影響などもあり売上減少
- 半導体は前期受注の大型案件、東アジア向け販売の好調さなどから前年を上回る売上を達成

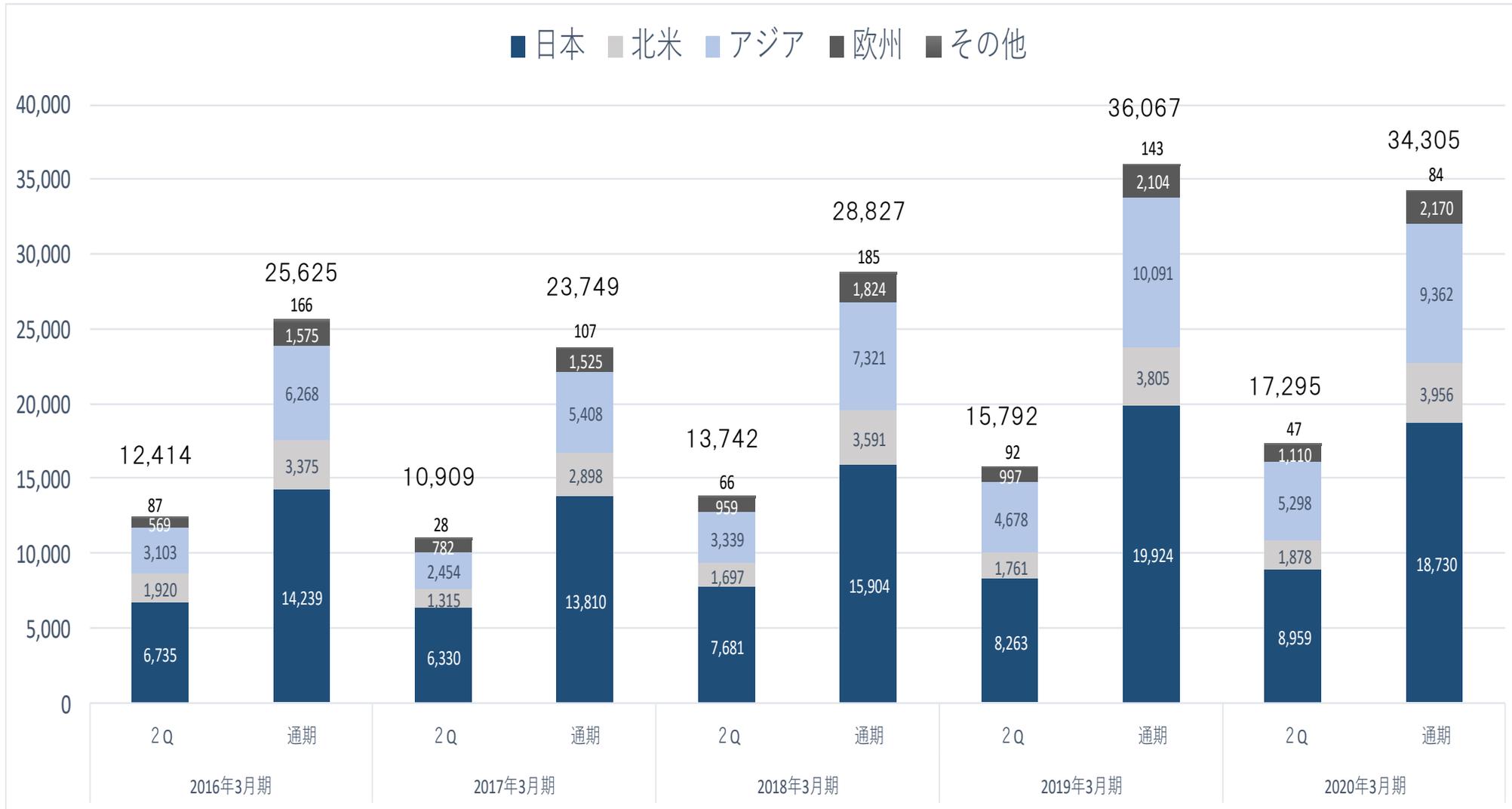
セグメント別売上高推移



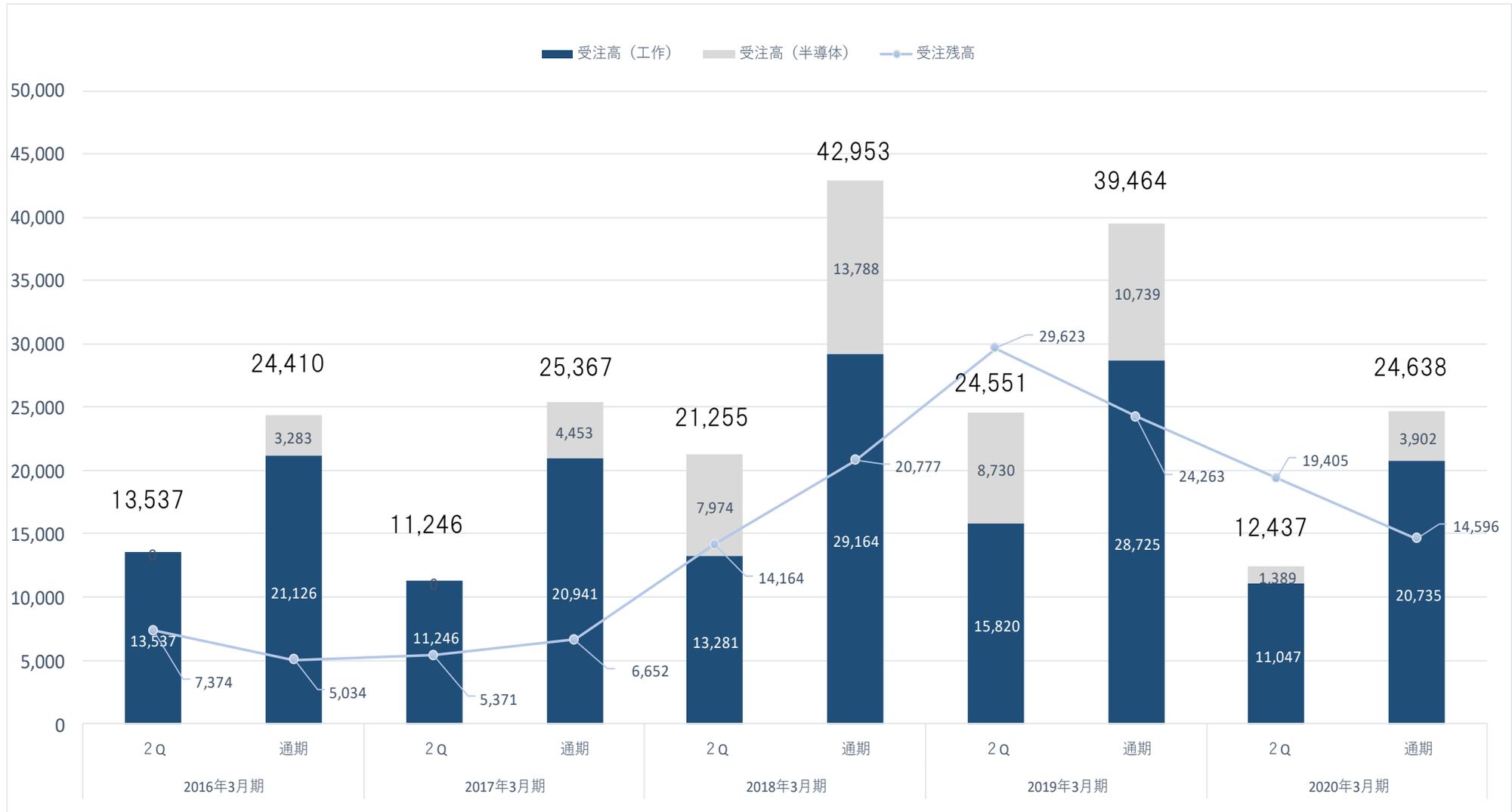
セグメント別売上高推移②



エリア別売上高推移



受注・受注残高



比較貸借対照表

(単位:百万円)

	2019年3月		2020年3月	
	金額	金額	金額	対前期末比
流動資産	24,943	22,793		▲2,150
現金及び預金	4,364	3,400		▲964
受取手形及び売掛金	10,329	8,576		▲1,753
棚卸資産	9,984	10,487		+503
有形・無形固定資産	9,839	10,085		+246
投資等	1,844	1,286		▲558
資産合計	36,627	34,164		▲2,463

(単位:百万円)

	2019年3月		2020年3月	
	金額	金額	金額	対前期末比
負債合計	24,069	21,053		▲3,016
流動負債	18,496	16,300		▲2,196
固定負債	5,573	4,753		▲820
純資産合計	12,557	13,110		+553
負債資本合計	36,627	34,164		▲2,463

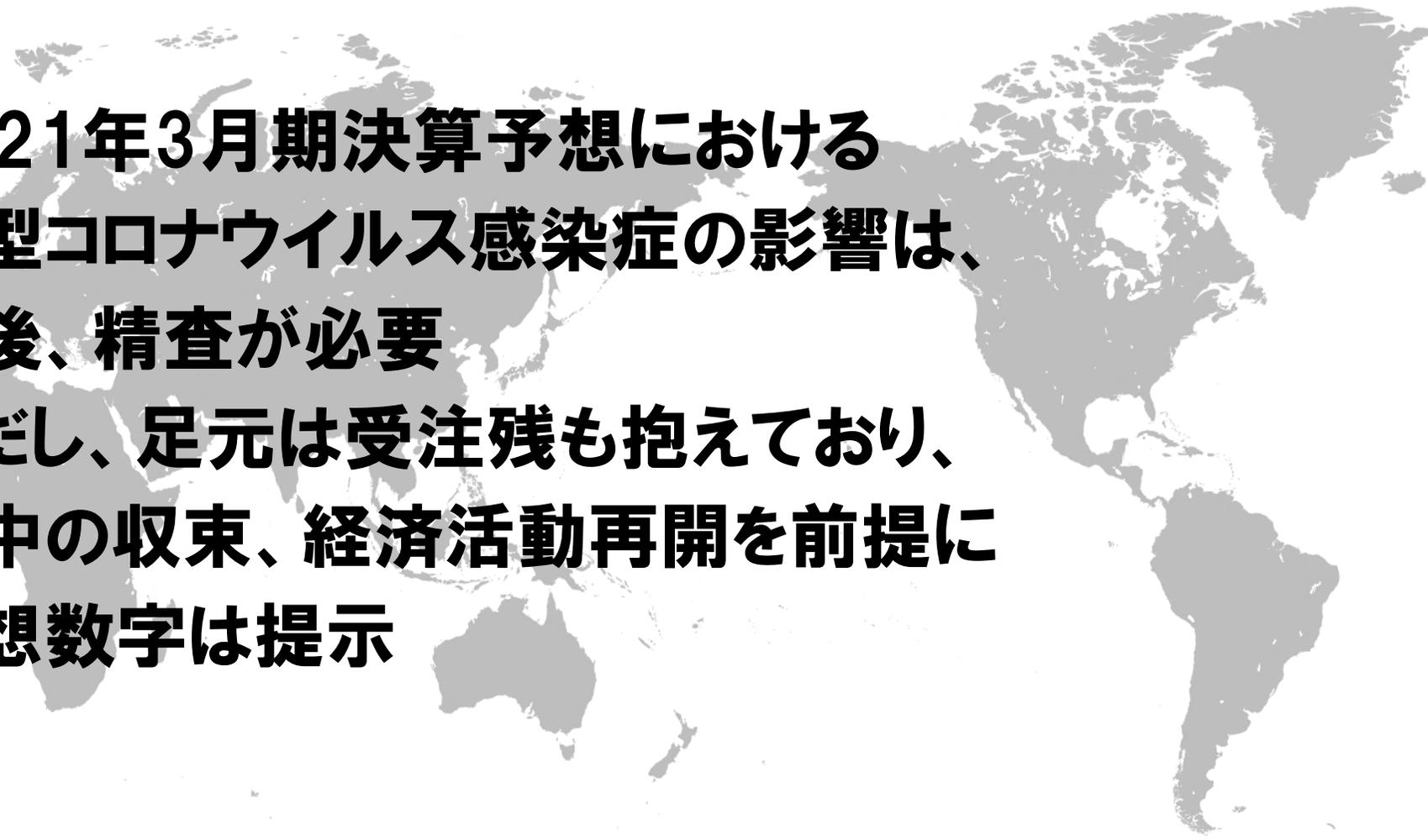
比較キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2019年3月	2020年3月	
	金額	金額	対前期末増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,355	23	▲4,332
税引前当期純利益	3,520	2,416	▲1,104
減価償却費	1,166	1,320	+154
売上債権の増減 (▲は増加)	▲2,029	1,685	+3,714
棚卸資産の増減 (▲は増加)	▲1,943	▲682	+1,261
仕入債務の増減 (▲は減少)	1,947	▲2,501	▲4,448
その他	1,694	▲2,215	▲3,909
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲917	▲1,159	▲242
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,628	245	+2,873
換算差額	26	▲89	▲115
現金・同等物残高	4,291	3,311	▲980

2. 2021年3月期 決算予想





**2021年3月期決算予想における
新型コロナウイルス感染症の影響は、
今後、精査が必要
ただし、足元は受注残も抱えており、
期中の収束、経済活動再開を前提に
予想数字は提示**

2021年3月期の工作機械関連の市場環境見通し

■ 国内市場

- 新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながらも、引き続き能力増強投資や人手不足に対応した省力化投資増加を予想
- コロナ危機に対応した政府施策を注視し、施策にあった需要発掘に努める

■ 海外市場

- 中国市場においては第1四半期から経済活動再開、今後、欧州、北米、東南アジアも順次、新型コロナウイルス感染症のとりあえずの収束を待って経済活動再開の見込み
- 経済活動再開時には、北米で医療機器関係を中心に引き合いを想定、航空機部品については不透明感あり

2021年3月期の半導体関連装置の市場環境見通し

■ 国内市場

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、テレワークなど新しい生活の常態化を予想
つれて5G関連も含め、半導体需要の増加の加速化を予想

■ 海外市場

- 中国においては、米中冷戦の深刻化を含め半導体関連事業の育成強化を予想
- 東アジアについて投資の加速化を予想

通期業績予想

2021年3月期予想数字は、期中において新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、経済活動が回復に向かうことを前提に作成。今後、業績予想数字の予想修正が必要になった場合は、速やかな開示を予定

(単位:百万円、%)

	2020年3月	2021年3月 (予想)	
	金額	金額	前期比増減率
売上高	34,305	30,000	▲12.5%
売上総利益	10,330	8,624	▲16.5%
販売費及び一般管理費	7,740	7,124	▲8.0%
営業利益	2,589	1,500	▲42.1%
経常利益	2,420	1,330	▲45.0%
当期純利益	1,582	900	▲43.1%

※小数点第2位を四捨五入

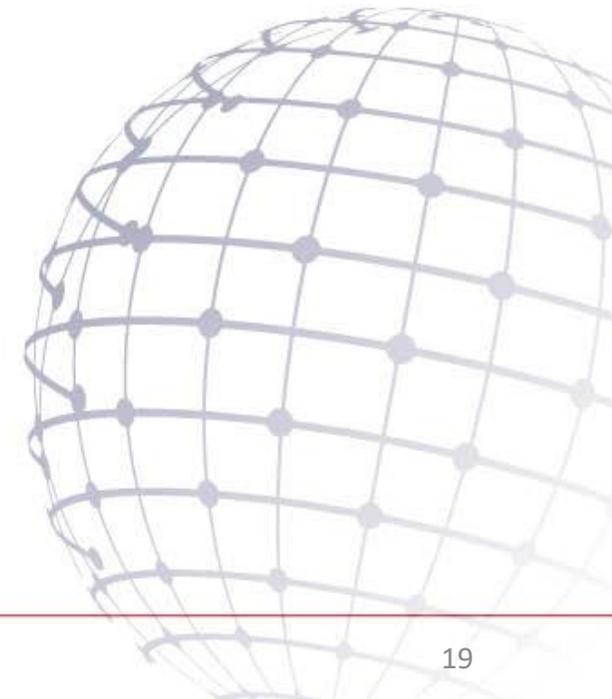
(単位:百万円)

	2020年3月	2021年3月 (予想)
	金額	金額
設備投資額	1,615	1,131
減価償却費	1,320	1,345
研究開発費	153	168

為替レート	2020年3月	2021年3月 (予想)
米ドル	108.95	109.00
シンガポールドル	79.27	80.00
ユーロ	120.85	121.00
タイバーツ	3.51	3.60
人民元	15.59	15.60

※期中の平均レートで記載しております。

3. 新型コロナウイルス感染症の影響と 当社施策等



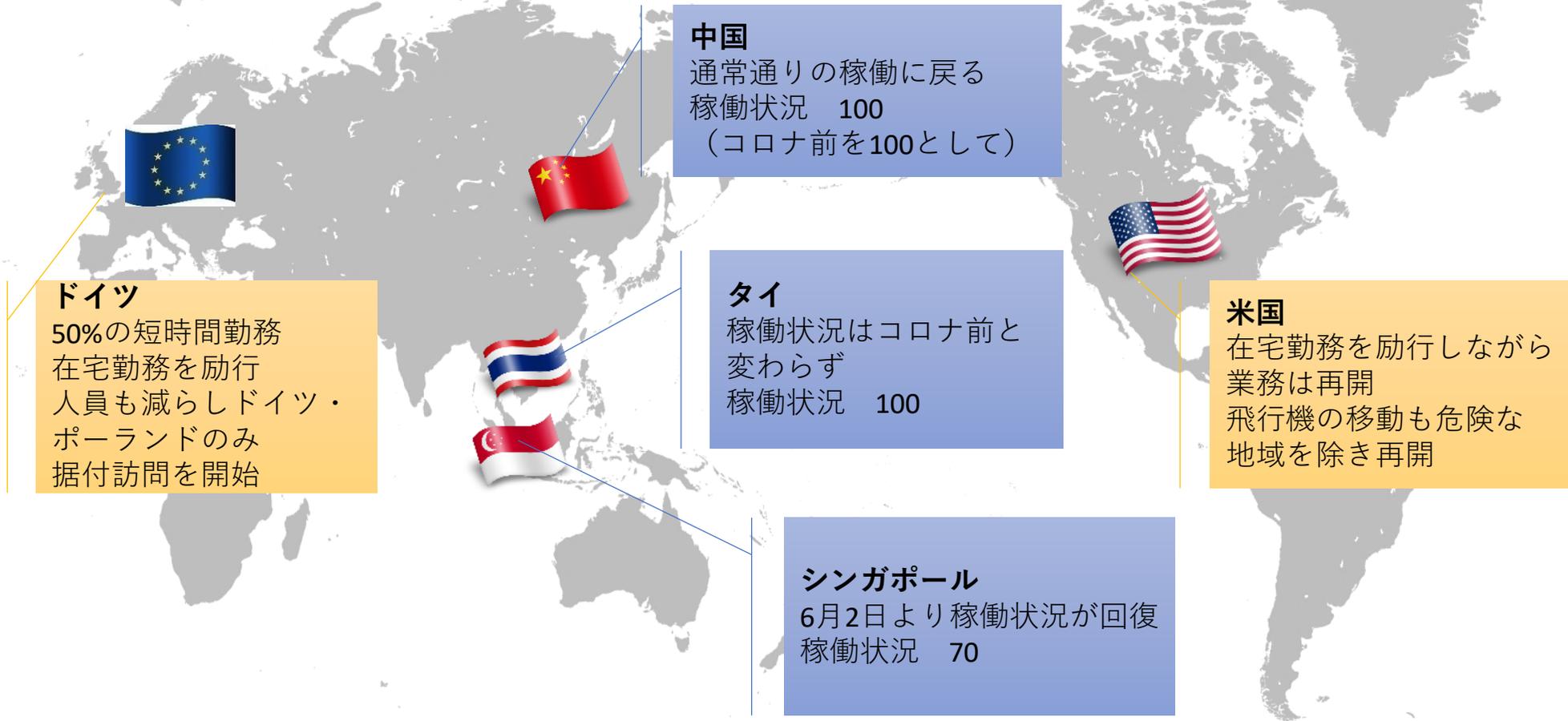
新型コロナウイルス感染症にかかる当社内部施策（防疫対策）

項目	該当拠点
出社時の検温、発熱時・体調不良時の自宅待機	全拠点
在宅勤務、時差出勤等	全拠点
学校の休暇に伴う出勤困難者への特別休暇	国内全拠点
国内外の出張禁止、帰国従業員の自宅待機、接待禁止、会議の縮小、部外者の会社施設への立ち入り制限	国内全拠点
食堂、工場などレイアウト変更、主要箇所定期消毒	全拠点
従業員に対するマスク配布と着用の徹底、外出自粛要請等	全拠点
テレビ会議システムの活用	全拠点

新型コロナウイルス感染症にかかる海外各拠点の状況（6月8日現在）

生産拠点については、中国、タイについては稼働状況がコロナ前の水準に。シンガポールはコロナ前の70%程度の回復。

販売拠点については米国は少しずつ業務が再開、欧州は引き続き慎重な対応ながら少しずつ再開へ

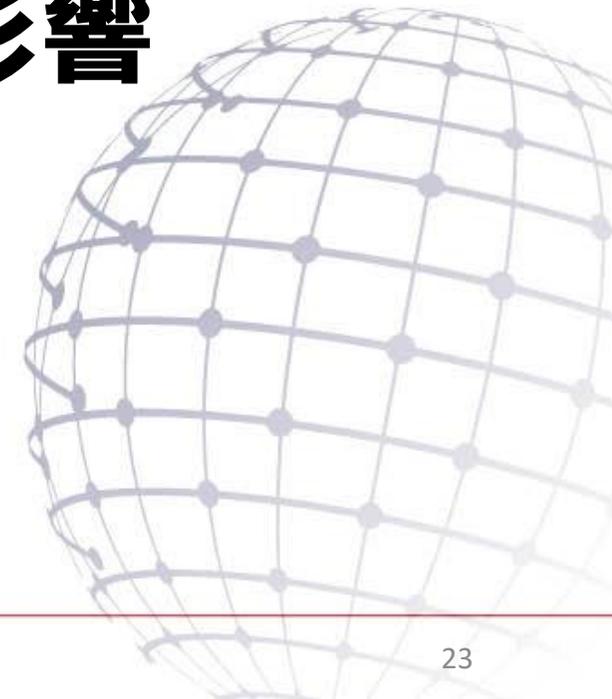


当社事業セグメントにかかる新型コロナウイルス感染症の影響

	事業環境	当社状況
工作機械 (国内)	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながらも、引き続き能力増強投資や人手不足に対応した省力化投資増加を予想 ● コロナ危機に対応した政府施策を注視し、施策にあった需要発掘に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ● 省力化の引合いは根強く、今後一層の引合いの増加を予想 ● 中国からの国内回帰の動きで、生産体制を見直す企業が増加、引合い増加を予想
工作機械 (海外)	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国市場においては第1Qから経済活動再開、今後、欧州、北米、東南アジアも順次、新型コロナウイルス感染症の収束を待って経済活動再開の見込み ● 経済活動再開時には、北米で医療機器関係を中心に引き合いを想定、航空機部品・自動車部品については不透明感あり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 5Gの関係で半導体関連製品設備増強の流れが加速、引合い活発 ● 携帯用の光学レンズ金型が繁忙、設備増強予定だが米国施策を考慮し、中国からの生産拠点見直しから、アジアでの引合い増加を予想
半導体関連装置	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染症対策からテレワークなどが常態化 ● 5G関連も含め、半導体需要は一層増加を予想 ● 米中対立激化も双方とも半導体関連投資は増加予想 	<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年度後半から需要回復 ● ファイナルポリッシャー、グラインダーとも需要増加を予想

4. 新型コロナウイルス感染症の 中期経営計画への影響

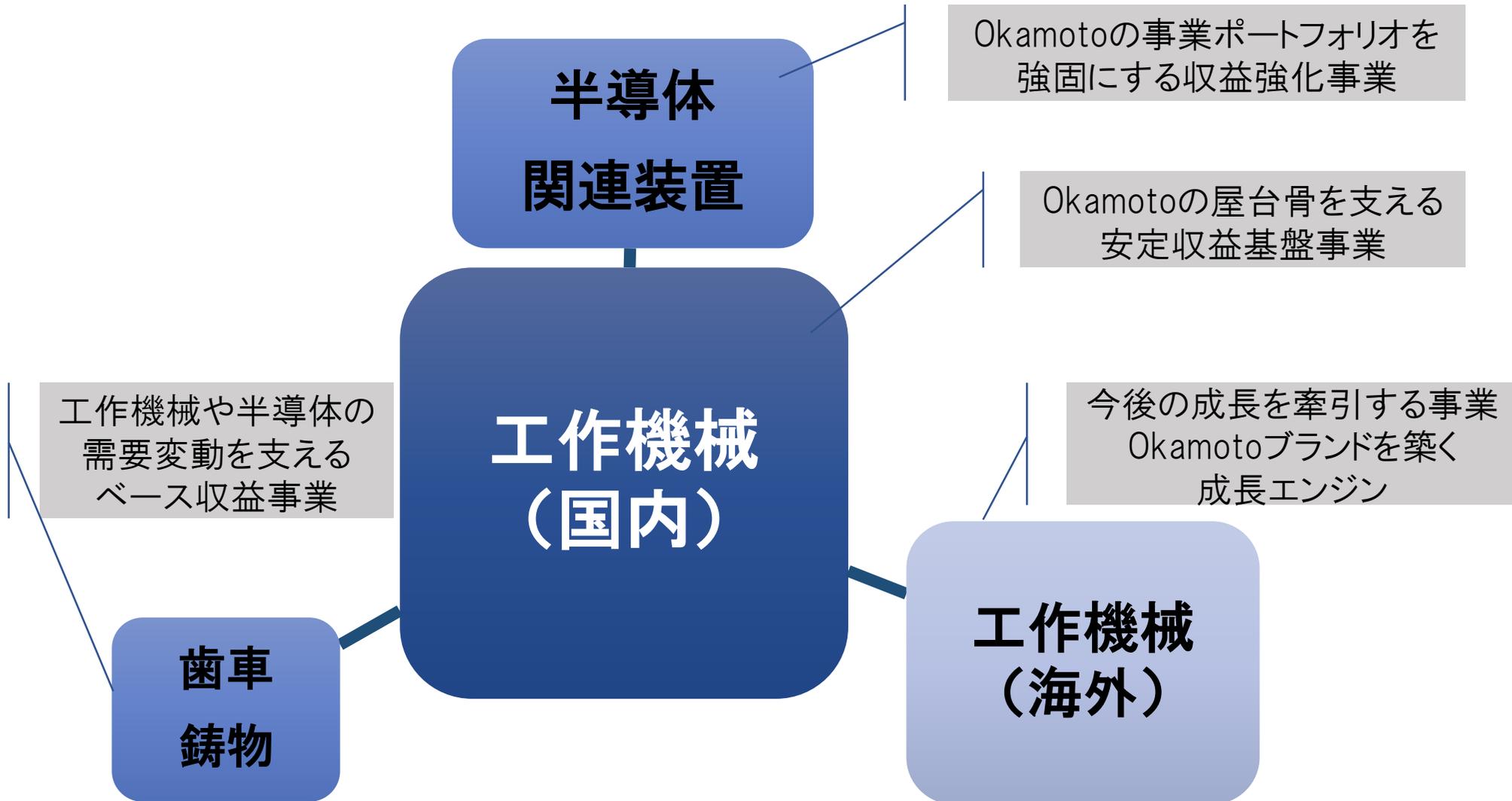
サマリー再掲



**新型コロナウイルス感染症の影響については、
今後精査が必要ながら、
「安定した収益を確保できる企業」を目指す
『SHINKA2022』で提示した戦略の方向性は不変**

**中計最終年度の数値目標
売上380億円、営業利益46億円
営業利益率12%達成についても
現段階では目標を堅持**

各事業セグメントの位置づけ



安定した収益を 確保できる企業

ダウンサイドに強い安定した
収益基盤の強化

持続的成長のための
エンジン事業の育成

Okamotoブランドの再構築

顧客ライフタイムバリュー強化

B to B → B with B

サービス体制拡充、高付加価値機拡販

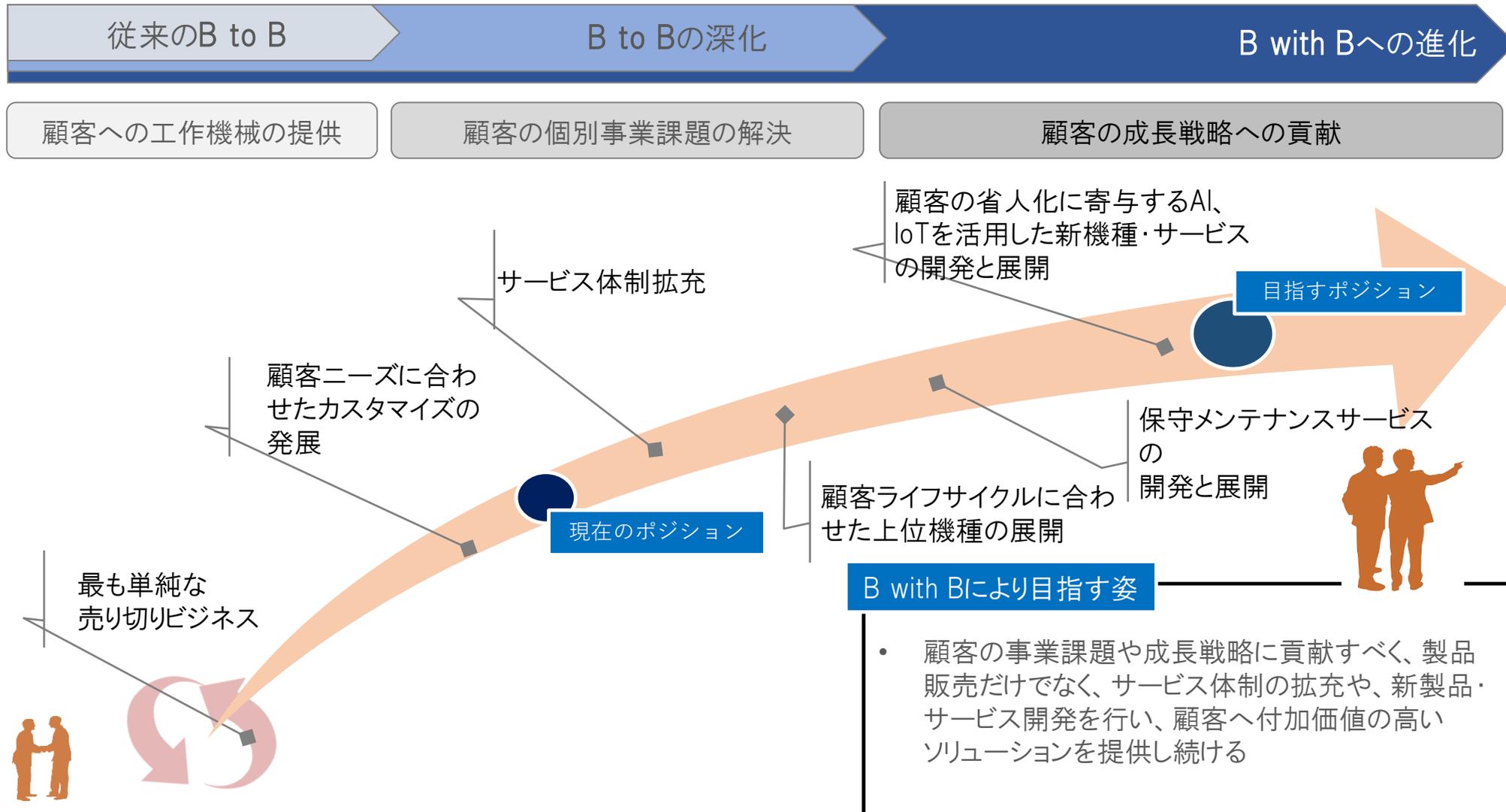
グローバル戦線拡充

マーケティング体制強化、管理体制強化

モノづくり改革

モノづくりの整流化、海外直送体制の確立

顧客ライフタイムバリューの強化



グローバル戦線の拡充



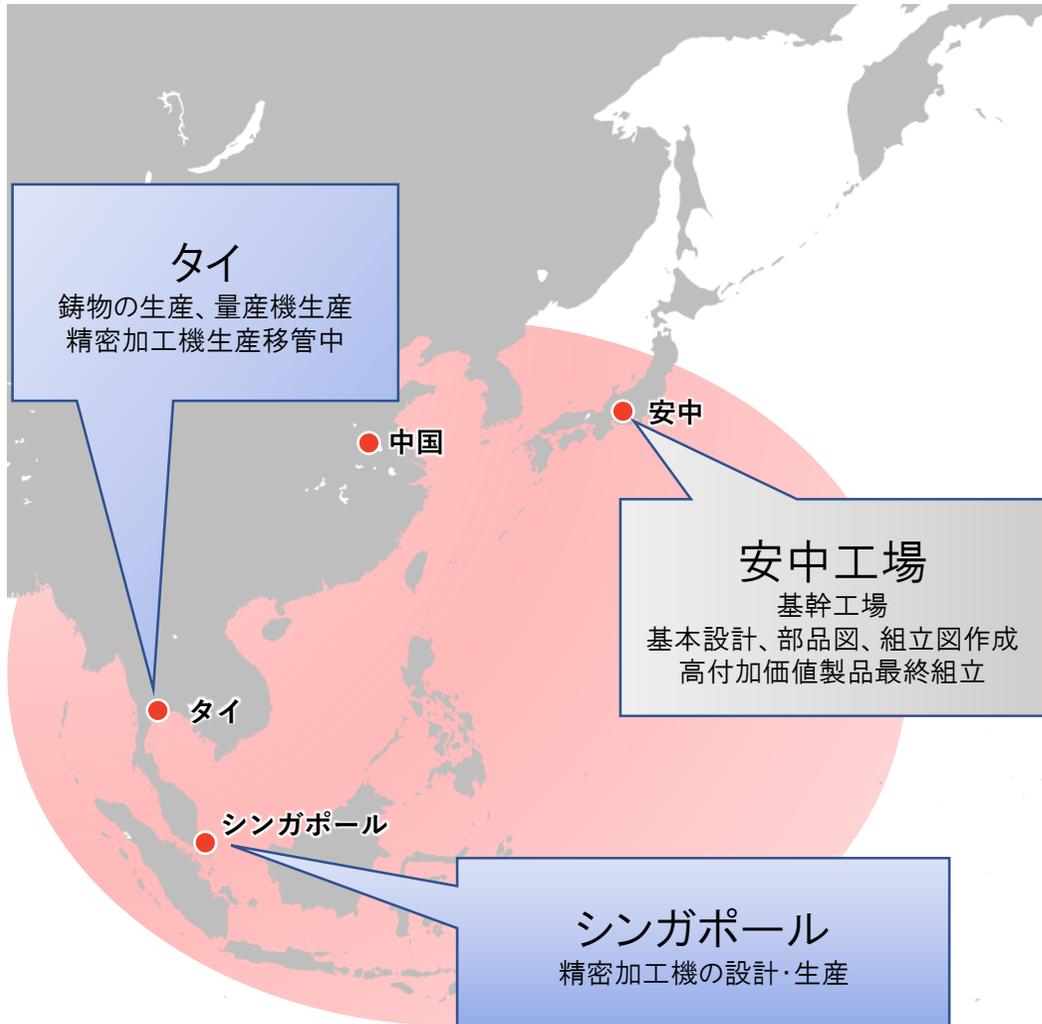
マーケティング機能を強化し、グローバルでの拡販と製品競争力を高める

- ・マーケティングにおけるPDCAの徹底
- ・アプリケーションエンジニアの拡充
- ・機種別担当制の導入
- ・新拠点拡充(インドなど)

● … 生産拠点

● … 販売拠点

モノづくり改革



モノづくりの整流化

- 生産・開発キャパシティの見える化をし、生産、開発、販売計画の連動と計画的なコストダウンを実施
- グローバル生産体制の適正化

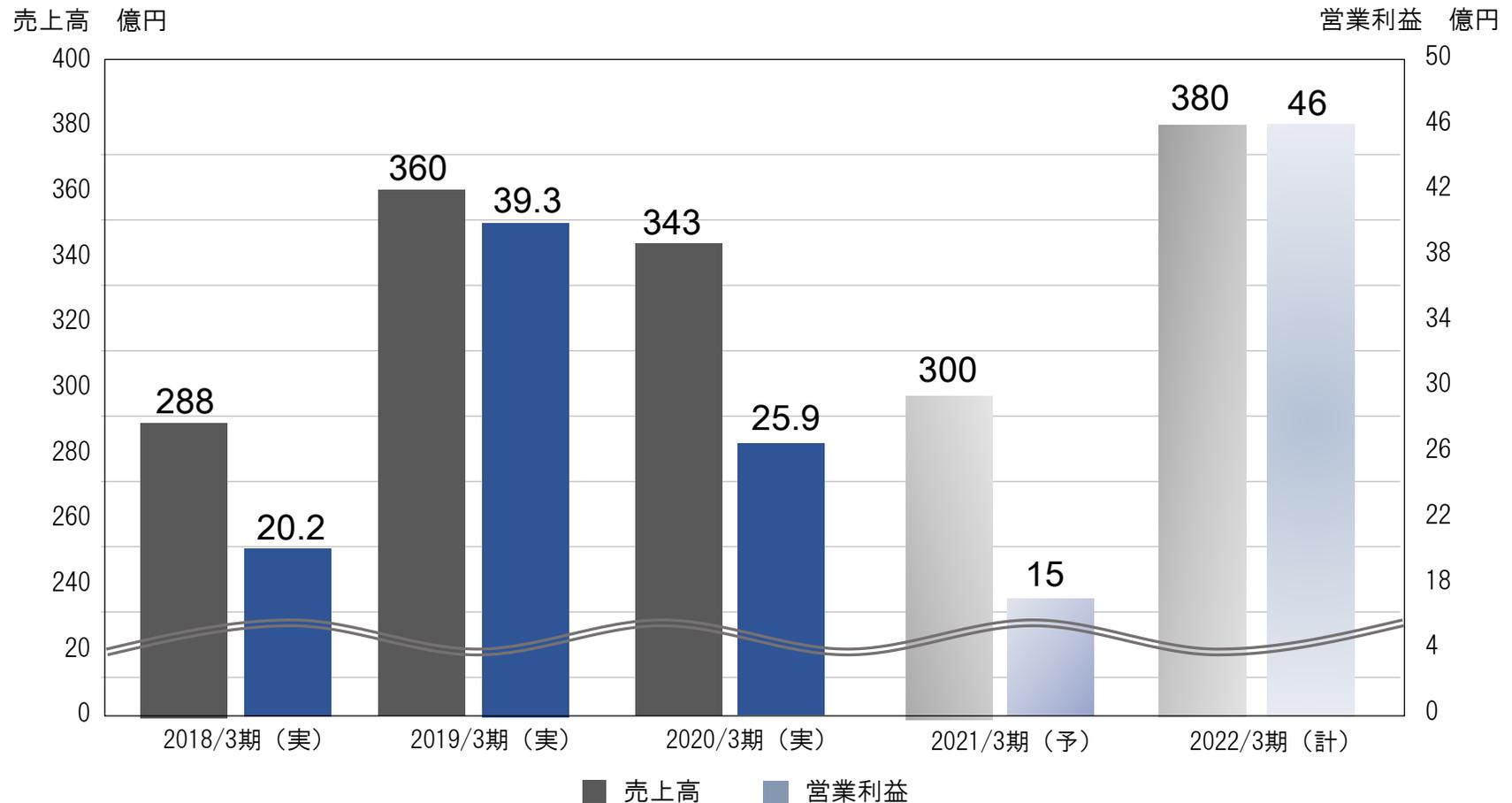
海外直送体制の確立

- 海外生産品の国内の販売先へ直接輸送可能な体制を構築することで納期短縮・費用削減を図る



中期目標

2021年3月期予想数字は年度後半の新型コロナウイルス感染症収束を前提として提示
最終年度数値目標についても現段階では目標を堅持。引き続き目標達成に邁進。



2022年3月期 営業利益率目標 12%

究極の
平面創成



Okamoto

Appendix

～ご参考資料～



世界唯一の総合砥粒加工機メーカー

会社概要

会社名 英文	株式会社 岡本工作機械製作所 Okamoto Machine Tool Works, Ltd.		
創業	大正15年11月		
設立	昭和10年6月		
資本金	48億8051万円		
本社所在地	〒379-0135 群馬県安中市郷原2993番地		
事業内容	【各種研削盤・半導体関連装置の製造・販売】 研削盤（平面・成形・円筒・内面・歯車・周辺機器） 半導体関連装置（グラインディング・ポリッシング・ラッピング・スライシング）		
従業員数	連結: 2,023名	単体: 428名	※2020年3月末現在



国内拠点、海外拠点



Okamoto Machine Tool Europe GmbH



Birmingham Sales Office

Herford Sales Office (D)

Shenzhen Sales Office



Okamoto (Thai) Co., Ltd.



Okamoto (Singapore) Pte, Ltd.



Okamoto Machinery (Changzhou) Co., Ltd.



Dalian Sales Office

Shanghai Sales Office



Okamoto Corporation

Louisville, KY Sales Office

Windsor, CT Sales Office

Santa Fe Spring, CA Sales Office



● ... 生産拠点

● ... 販売拠点

富山営業所
 名古屋営業所
 広島営業所
 福岡営業所
 仙台営業所
 本社/安中工場
 北関東営業所
 首都圏営業所
 技研(株)
 岡本工機(株)
 静岡営業所



生産・販売拠点	
国内	9拠点
北米	4拠点
欧州	3拠点
中国	4拠点
アジア	2拠点

研削盤の機種別分類

700万円



PSG-CA1 シリーズ
(高能率研削仕様)



スマートフォン
時計・カメラ
ロボット
自動車
他

2000万円



UPZ-Li シリーズ
(リニアモータ駆動)



液晶テレビ
コンピュータ
時計・カメラ
自動車
他

5000万円



UGM360NC
複合加工機



自動車
船舶
精密スピンドル
工作機械
他



UPG-NCシリーズ
超精密大型研削盤



航空機
液晶テレビ
測定器
工作機械
他

半導体製造装置の機種別分類：主力製品

6000万円



GNX200B
SiCウェーハ用グラインダー



次世代パワー半導体SiC
電気自動車、電車、PC
他

15000万円



GDM300
ウェーハ薄化用
インライングラインダー



スマートフォン
PC
他

23000万円



SPP800ATB
バッチ式ウェーハポリッシャー



スマートフォン
SAWフィルター



PNX332B
ファイナルポリッシャー



8"、12"Si 材料ウェーハ

半導体製造装置の機種別分類：関連製品

7000万円



SiSG156HT
太陽電池インゴット複合研削盤



太陽電池・ソーラーパネル

20000万円



PSG-CHシリーズ
門形平面研削盤



液晶(LCD)テレビ・ディスプレイ

30000万円



SPP3800
ピッチポリッシャー





本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 岡本工作機械製作所
総務部
TEL 027(385)5800

【本資料お取扱い上のご注意】

本資料は、株式会社岡本工作機械製作所(以下、当社)をご理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資活動勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果があります。